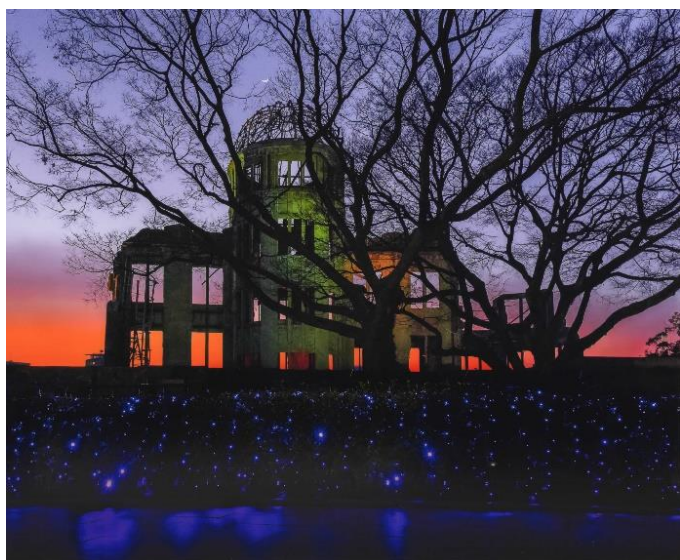


全日本写真連盟広島県本部 「2020 フリーフォトコンテスト」審査結果



主催 全日本写真連盟広島県本部
応募者数 61人
応募点数 240点
審査・講評 関西本部委員 平田清司

推薦

「あの日の記憶」 山田 興亜 (個人会員)

戦争という悲惨な歴史を超えて世界遺産となり、恒久平和のシンボル「原爆ドーム」の夕景を良い条件で撮られています。作者の意図が伝わる重厚感のある作品に仕上げられています。

特選



「夕空を貫く」

穴戸 安子

(デジタル広島支部)

電光石火のごと赤く染まったビルを捉えた稲妻。自然の凄まじいエネルギーを感じます。そうそうチャンスがない落雷の瞬間を撮られた手腕はお見事です。



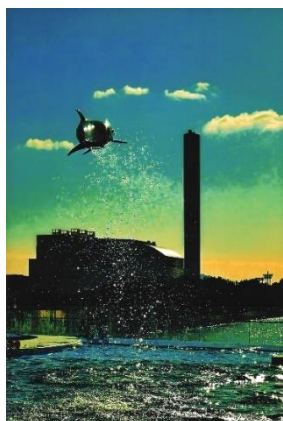
「漁へ急ぐ」

宇都宮 雅江

(フォトシャッセ支部)

黄金色に輝く水面を一艘の舟が漁に向かう動と竹杭の静をバランスよく画面に配した巧さがあります。羽を広げた鶺鴒も目を引くポイントでシンプル・イズ・ベストの作品です。

準特選



「高さくらべ」

荒田 尚美

(フォトジェンヌ支部)

何が空へ飛んでいるのか？一瞬不思議な光景でした。イルカショーを高速シャッターで写し止めた手腕と色彩表現がうまくマッチした作品です。



「晴れの日」

丸谷 邦子(フォトジェンヌ支部)

晴れ着で歩く可愛い女の子。振り向き際のちょっと緊張した表情をチャンス良くスナップされました。ひな飾りの赤も画面効果を上げています。



「冬の馬」

朝枝 加津子(フォトシャッセ支部)

厳しい吹雪にもじっと耐える寒立馬。アップにしたフレーミングがうまく、どこか寂しげな眼が効いています。ややハイキーな描写も良かったです。

特別賞



「秋色多彩」
向井 景昭
(サンデータウン支部)

ローキー調シンメトリーな画面構成。暗雲の中にスポットライトに輝く紅葉が強調され、表現の巧さが光ります。



「投網」
木山 聖
(デジタル広島支部)

不安定な舳先に立ち投げ入れた網が大きく広がった瞬間を画面いっぱいにつえています。タイミングの良さが一番のスナップショットです。

入選



「バイク待て」
三次 凱彦(広島支部)



「みんなでゴール」
鍵本 裕次(東広島支部)



「実りの秋」
土本 岩子(呉支部)



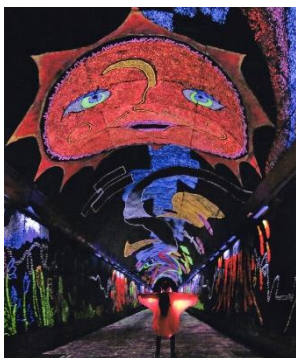
「麦秋」
宮田 順正(フォトプラス支部)



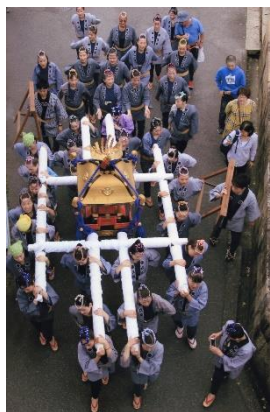
「花のループ」
原田 今朝弘(デジタル広島支部)



「飛翔」
上瀬 繁(フォトシャッセ支部)



「怪人」 西尾 弘
(広島タウン支部)



「姫みこし」
西尾 紀美子(広島タウン支部)



「カモメ目線」 河野 万里子
(フォトジェンヌ支部)



「列車はまだ！」 河野 宏志
(サンデータウン支部)